

## 実験動物用飼料の分析について

NOSAN 実験動物用飼料「ラボ」シリーズは、GLP（Good Laboratory Practice）対応に関する定期分析を、下記の通り実施しております。

### 1) 分析銘柄

用途	銘柄名称	検査頻度
マウスラット	ラボMRストック	全ロット
	ラボMRスタンダード	全ロット
	ラボMR-A1	年4回
	ラボMRブリーダー	年1回
ハムスター	ラボHスタンダード	年1回
モルモット	ラボGスタンダード	全ロット
ウサギ	ラボRストック	全ロット
	ラボRグロワー	年1回

### 2) 主な分析項目

有害汚染物質 ※	
重金属	総水銀、カドミウム、鉛、砒素、クロム
農薬 有機リン系	マラチオン、パラチオン
農薬 有機塩素系	ヘプタクロル、総 BHC、総 DDT、ディルドリン、アルドリン
カビ毒素	アフラトキシン B1・B2・G1・G2
発ガン物質	N-ニトロソジメチルアミン、N-ニトロソジエチルアミン
塩素系毒物	PCB
微生物	一般生菌数、大腸菌群、サルモネラ、真菌数
一般成分	水分、粗蛋白質、粗脂肪、粗繊維、粗灰分

※日本実験動物飼料協会の管理基準値（案）に則る。

検査報告書はメールで配信しておりますので、配信を希望される場合は担当までご連絡ください（連絡先：045-224-3740）